

だれもが充実したいのちを燃やして生きることができるよう!

私たちは地域・職域・学校など、  
生活のいろいろな場面で  
「健康寿命」をのばす運動を  
実践しています。

# よぼう医学

THE NEWS OF HEALTH SERVICE

2010(平成22)年12月15日 第448号

(財)東京都予防医学協会  
(財)予防医学事業中央会東京都支部  
発行人 北川照男・編集人 山内邦昭  
発行所 〒162-8402  
東京都新宿区市谷砂土原町1の2  
保健会館 電話 03-3269-1131  
http://www.yobouigaku-tokyo.or.jp  
毎月15日発行 年間購読料 300円(1部30円)



## ● 今月の主な紙面 ●

- (1面) ● 科学的根拠に基づいた公衆衛生政策  
第69回日本公衆衛生学会総会より
  - (2・3面(見開き))
    - 特集 糖尿病診断基準見直しを受けた  
これからの糖尿病診断・治療のあり方
    - 連載 歯の喪失は予防できる  
人生の最後までおせんべいをバリバリと 第5回
    - 連載 産業医訪問 第85回
  - (4面) ● 成功する健康診断事後指導  
第19回健康づくり懇話会総会
    - 第55回予防医学事業推進全国大会が長崎で開催
    - 「最先端のむし歯・歯周病予防を要求する会」が発足
    - がん検診企業アクションに本会も賛同
    - お知らせ
- 連載「健康づくり・健康増進を支援するページ」今月は休載します

# 科学的根拠に基づいた 公衆衛生政策

第69回日本公衆衛生  
学会総会より

## 根拠をつくる調査研究を推進し 結果を対策に生かすことが重要

前立腺がんの早期診断をする上で有用とされるPSA検査について、厚生労働省の研究班は「現時点では有効性を証明する十分な根拠がない」として対策型検診への導入を認めていない。一方、臨床医からなる日本泌尿器科学会が、PSA検査による前立腺がん検診を推奨している。このように権威ある機関が異なる見解を示している。市町村などで根拠の十分でないがん検診が行われていることは、わが国の公衆衛生政策上の大きな問題となっている。こうした中、10月27日から29日の3日間にわたり東京・千代田区の東京国際フォーラムで、「公衆衛生の発展に向けて」調査研究から政策へ」をメインテーマに、第69回日本公衆衛生学会総会(学会長 大井田隆日本大学医学部教授)が開催された(写真)。今回は、メインシンポジウムの模様を紹介する。

医療科学院の加藤則子部長は、「健康日本21」の一翼を担う国民運動計画「健やか親子21」について、その中間評価研究会の委員を務めた立場から次のように述べた。

「この施策の優れた点は、施策を遂行するための主要な課題と具体的な指標を掲げたこと、それぞれの指標に対して人口動態統計などに基づき現状値と目標を設定したこと、関係者や関係機関、関係団体などが一体となって計画を推進する仕組みが作られたこと、などである。」

加藤部長は続けて、目標値の設定に関して考慮すべき事項や、施策を評価するためのチェック項目などについて解説した上で、「健やか親子21では、2度にわたる中間評価を行い、必要に応じて指標を見直し、重点的に取り組む課題を設定している」と述べ、

「今後の課題は、根拠となる効果的な取り組みの構築である。そのためには、政策決定者の役に立つ形で情報提供を行うことが重要である」と強調した。

次に登壇した滋賀医科大学の三浦克之教授は、「循環器疾患は、わが国では主要な死亡原因であり、その対策は公衆衛生上重要な課題の一つである」として、循環器疾患基礎調査の「NIPPON DATA」に携わった立場から、循環器疾患予防対策の疫学的根拠について述べた。



三浦教授は、根拠を構築するに当たって重要なポイントとして、①循環器疾患の発症や死亡、危険因子、生活習慣の現状や推移はどうか②日本人の循環器疾患では、どの危険因子が重要か③日本人、どのような生活習慣が危険因子発現の原因になるかなどをあげて解説し、次のように語った。

「わが国の循環器疾患は、高血圧や脳卒中を中心としたものから、肥満や糖尿病、脂質異常症、心筋梗塞の増加へと変貌しつつある。国民のライフスタイルや社会経済的要因も大きく変化しており、将来の日本人の循環器疾患予防の根拠を創出するため、新たな疫学研究も始まっている。」

続いて、東北大学大学院医学系研究科の大内憲明教授は、疫学研究の信頼度について、

「STARRTでは、新たな科学的根拠を検証中である。『公衆衛生政策』提言のための根拠の形成には大規模な臨床試験の実施、中でもRCTの推進が欠かせない。がん対策のための最も重要な研究の一つと位置づけられたJ-STARRTは、わが国では困難とされてきた大規模RCTが実施可能であることを示している。」

最後に、鹿児島県始良・伊佐地域振興局の宇田英典部長が、地域で公衆衛生活動を実践する保健所長を兼務する立場から講演した。

宇田部長は、「保健所では人口動態統計や国民健康栄養調査など、さまざまな情報を活用し、発信している。また、既存の統計から情報が得られない場合は独自に調査を行う」と述べ、精神および行動障害の実態調査や自殺予防に関する研究事例を紹介した。

また、こうした取り組みの一方で、保健所数が減少していること、実務が優先され調査研究機能が低下している状況などを指摘し、保健所の機能強化、保健所長の資質の向上、大学・研究機関・学会との連携強化が必要であるとして、次のように結んだ。

「科学的根拠は、その益を受ける地域で作られ、地域で使われてこそ、その本質的目的が達せられる。そのために、公衆衛生の技術的・専門的機関としての保健所の果たすべき役割は大きい。」

学会では、この他、がん検診の受診率向上、特定保健指導、新型インフルエンザ対策、自殺対策、たばこ対策、食の安全などをテーマに、多数のシンポジウムやフォーラム、教育講演などが行われた。

## 個人情報取扱について

日頃より、東京都予防医学協会の機関紙「よぼう医学」をご愛読くださりありがとうございます。本会では、現在「よぼう医学」を送付させていただいている皆様について、送付に必要な情報(名前、住所、所属、役職など)を送付名簿として保持しております。これらの個人情報の収集、保存、利用につきましては、本会の個人情報保護方針に基づき、厳重な管理のもとに運用しております。その上で今後も継続して送らせていただきたいと思います。送付名簿から削除を希望される場合には、お手数ですが、広報室(電話 03-3269-1131)までご連絡ください。

## 健康管理相談をお引き受けします

当センターの会員が事業所、学校、各種団体の健康管理をアドバイスいたします。

担当：江幡良晴 三輪祐一

お問い合わせ・  
ご相談は事務局まで  
(予約制)

健康管理コンサルタントセンター  
事務局 東京都新宿区市谷砂土原町1-2  
(財)東京都予防医学協会  
電話 03-3269-1141

## 送付先の変更・中止について

送付先の住所変更・購読中止の場合には、変更内容を明記の上、本会広報室までお知らせください。

Eメール  
thsa-koho@msj.biglobe.ne.jp  
FAX 03-3269-7562

お電話(03-3269-1131)でも承っております。

# これから 糖尿病診断・ 治療のあり方

糖尿病が強く疑われるがその予備群は、国内で推計210万人。その数は年々増加の一途をたどっている。糖尿病は、治療が不十分で高血糖状態が続くと網膜症や腎症などの深刻な合併症を引き起こしたり、動脈硬化を促進したりする。重症化や合併症予防の鍵となるのは、早期発見と血糖管理など適切な治療の継続だ。こうした中、日本糖尿病学会は今年7月、糖尿病診断基準を改訂した。これを受けて、本会では10月16日(東京)中央の時事通信ホールで、日経メディアカール協和企画との共催で、平成22年度農林水産省日本型食生活支援事業「糖尿病診断基準見直しを受けたこれからの糖尿病診療・治療のあり方」研修会を開催した。今回は、筑波大学大学院の曾根博仁教授(湘南鎌倉総合病院長)の演習久美子部長による基調講演の要旨を伝える。

約半数が未診断のまま重症化や合併症の危険にさらされている

曾根博仁教授は、まず「糖尿病の患者数は、戦後30〜40倍に激増した。これほど急増した疾患は珍しい」と述べた。そしてその背景にある日本人の食生活の変化や運動量の減少と糖尿病の相関などを示しながら、「60年余り日本人の遺伝的素因が急に変化するとはない。いかに生活習慣の影響が大きいかが」と述べた。



曾根 博仁  
筑波大学大学院  
疾患制御医学専攻内科教授

4倍に増加し、動き盛りの突然死や寝たきりの重大な要因となつている」と指摘。また、糖尿病病である

型であれば、1回や健診では、当番は現行通りの検査で糖尿病とJDS値を用い、別学会が診断できるように、告知する旨から国際標準値bA1c(%)に変更する予定だ。

曾根教授は、「従来の基準では、別の日に再度検査するよう伝えても結局未診断したまま」と指摘した。

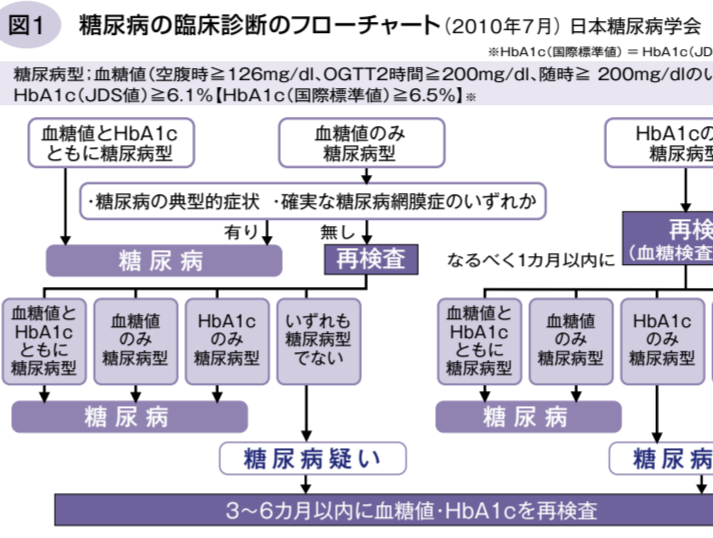
一方、糖負荷試験(OGTT)が推奨される場合

迅速な診断と根拠に基づいた治療で、合併症予防に期待

迅速な診断と根拠に基づいた治療で、合併症予防に期待

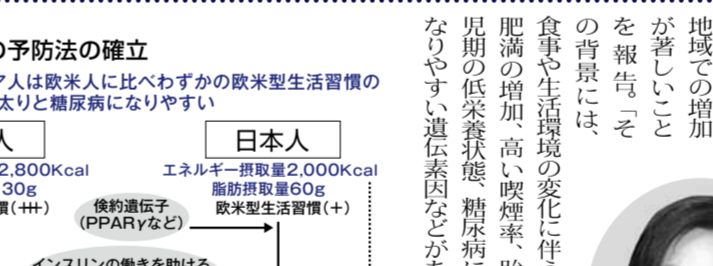
迅速な診断と根拠に基づいた治療で、合併症予防に期待

「糖負荷試験(OGTT)が推奨される場合」



「糖負荷試験(OGTT)が推奨される場合」

「糖負荷試験(OGTT)が推奨される場合」



「糖負荷試験(OGTT)が推奨される場合」

「糖負荷試験(OGTT)が推奨される場合」

「糖負荷試験(OGTT)が推奨される場合」

## 歯の喪失は 予防できる

人生の最後まで  
おせんべいを

5

アイルランドコーク大学  
西 真紀子 歯科医師

ムシ歯のリスク因子はそれぞれが複雑に相互作用し、また、その程度も個人個人で違います。

「口腔衛生指導」フッ化物の塗布やシーラントです。定期的に通院することの意味は大きいので、個人のリスクに合わせて、1カ月に1度から2年1度までの間隔で歯科医院に来院してもらいます。そうすると、初期のムシ歯を発見できます。

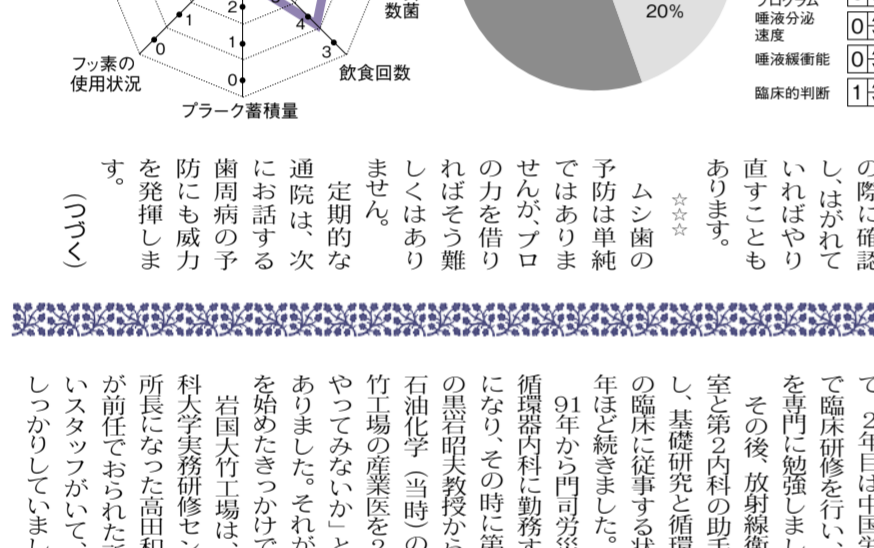
「口腔衛生指導」は、個人のリスクに合わせて、またその時のライフステージに合わせたセルフケアの指導をします。これも、定期的な通院によって大切な把握の機会を逃さないという点で意味があります。

「口腔衛生指導」は、個人のリスクに合わせて、またその時のライフステージに合わせたセルフケアの指導をします。これも、定期的な通院によって大切な把握の機会を逃さないという点で意味があります。

「口腔衛生指導」は、個人のリスクに合わせて、またその時のライフステージに合わせたセルフケアの指導をします。これも、定期的な通院によって大切な把握の機会を逃さないという点で意味があります。

次に歯科医院で行うことは、個々のリスクに応じた定期的な健診クリーニング、ムシ歯の好発部位(歯の

ムシ歯をどうやって防ぐのかープロケア



「口腔衛生指導」は、個人のリスクに合わせて、またその時のライフステージに合わせたセルフケアの指導をします。これも、定期的な通院によって大切な把握の機会を逃さないという点で意味があります。

「口腔衛生指導」は、個人のリスクに合わせて、またその時のライフステージに合わせたセルフケアの指導をします。これも、定期的な通院によって大切な把握の機会を逃さないという点で意味があります。

## 血糖管理や生活習慣の改善は、将来の合併症予防に有効

わが国の糖尿病の95%以上を占める2型糖尿病は、インスリンの効き目が悪くなる(インスリン抵抗性)ことで高血糖状態となる疾患だ。

「糖負荷試験(OGTT)が推奨される場合」

「糖負荷試験(OGTT)が推奨される場合」

「糖負荷試験(OGTT)が推奨される場合」

「糖負荷試験(OGTT)が推奨される場合」

「糖負荷試験(OGTT)が推奨される場合」

「糖負荷試験(OGTT)が推奨される場合」

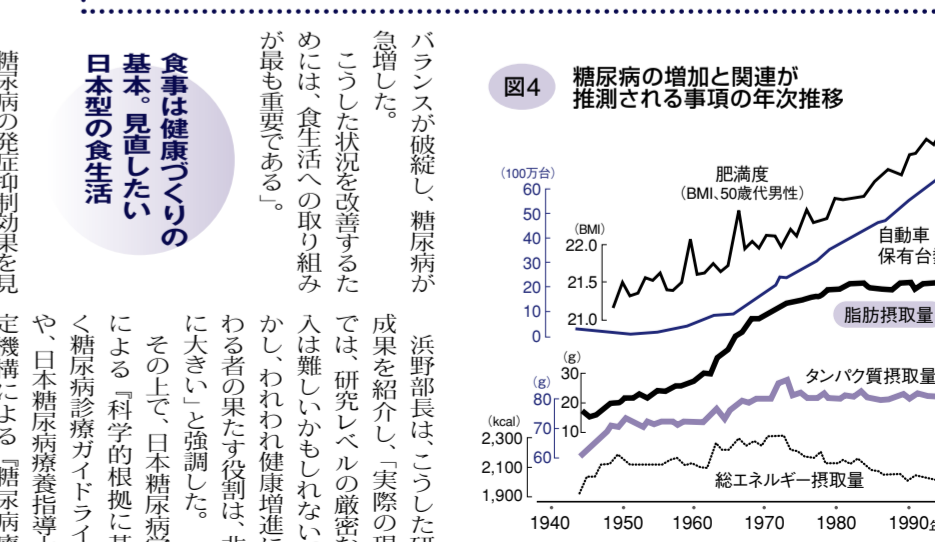
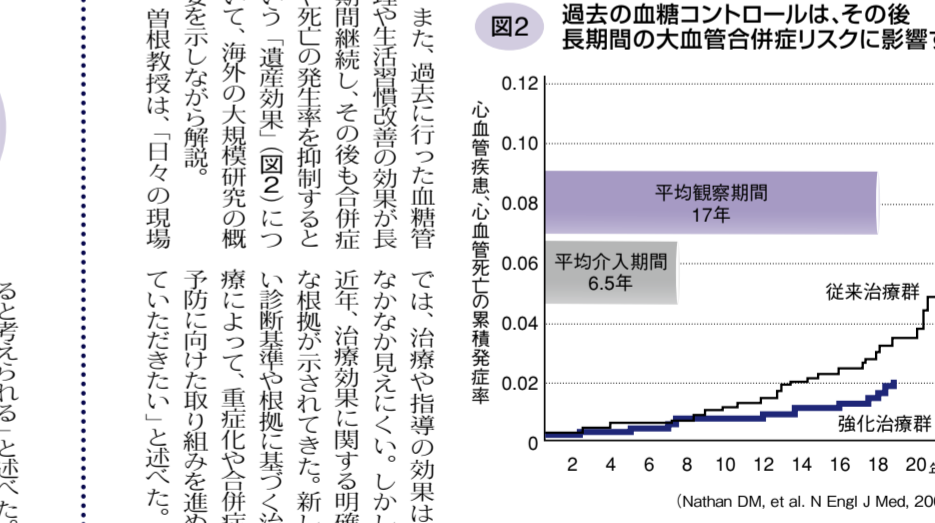
「糖負荷試験(OGTT)が推奨される場合」

「糖負荷試験(OGTT)が推奨される場合」

「糖負荷試験(OGTT)が推奨される場合」

「糖負荷試験(OGTT)が推奨される場合」

「糖負荷試験(OGTT)が推奨される場合」



「糖負荷試験(OGTT)が推奨される場合」

「糖負荷試験(OGTT)が推奨される場合」

「糖負荷試験(OGTT)が推奨される場合」

「糖負荷試験(OGTT)が推奨される場合」

「糖負荷試験(OGTT)が推奨される場合」

「糖負荷試験(OGTT)が推奨される場合」

# 成功する健康診断 事後指導

第19回 健康づくり懇話会総会

## 就業判定・事後指導を行い 健全な職場づくりを目指す

本会と、本会のユーザーが協力し、健康づくりに役立つ情報の交換と相互交流を目的に行っている第19回健康づくり懇話会総会が10月15日、都内のホテルで開催された。労働安全衛生法に基づく定期健康診断の有所見率は1999年の43%から年々増加し、2008年には51%と初めて5割を超え、その改善が強く求められている。こうした状況を踏まえ、労働衛生コンサルタント事務所プライムの木田哲二代表(写真)が産業医の立場から「成功する健康診断事後指導」と題し、有所見者を減らすための方策などについて講演を行った。



講演の冒頭、木田哲二代表は、健診の事後指導で重要なポイントとして就業判定と事後指導をあげ、この2つの目的や意味をきちんと把握して行っている事業者が意外と少ないことを指摘し、次のように述べた。

「就業判定の目的は労働者保護であり、事業者の責任で労働安全衛生法に基づく『病者の就業禁止』や民事上の『安全配慮義務』などの措置を遂行するために行う。実際に就業判定で行うことは、労働契約通りに就業させてよいかどうかの判断である。一方、事後指導の目的は労働者の健康状態を向上させることで、労働安全衛生法に基づく事業者の努力義務として行われる。また、労働者自身にも健康を管理する義務があるために行う。実際に事後指導で行うことは、保健指導などである。」

また、木田代表は現場で就業判定を行う際には、健診結果から有所見者を①ハイリスク者②ミドルリスク者③ローリスク者に分けるとし、次のように語った。

「①は就業判定を保留し、『就業判定に関する通知』を行う。主治医の診断書を提出してもらい、内容により、就業可能とする。診断書が未提出の場合は就業禁止とし、労働者の健康を優先することが大切である。その際、就業禁止は労働者への罰ではなく、法律に基づいた労働者の保護であることを事業者が労働者に明確にすることが重要だ。②、③は通常就業可能としている。」

次に、木田代表は「事後指導に活用するために、健診の有所見者には、再検査・精密検査の結果と血圧の数値など具体的な健康状態を記入する調査票の提出を求めている。この調査票の内容を確認し、必要であれば面接を行っている」と述べた。

木田代表は、「こうした調査票で健康管理を行う際には、労働者の理解と協力、経営トップの健全な改善意識および調査票を回収する担当者の取り組みを推進していくこと」

### がん検診企業アクション に本会も賛同

がん検診受診率を50%に引き上げるための国家プロジェクトとして、厚生労働省委託事業ががん検診受診促進企業連携アクションがスタートした。がん検診企業アクションの狙いは、がん検診受診率アップに向けた企業の積極的な取り組みを促すことである。

賛同する企業や団体は、①社内での普及啓発活動②活動情報発信③事業的な価値・社会的な価値の創造④などの取り組みを推進していくこと

### お知らせ

#### 第1回国際スポーツロジー学会

3月5日(土)  
東京・文京区「順天堂大学(本郷キャンパス)・講堂」

#### 第1回国際スポーツロジー学会が3月5日(土)、東京・文京区「順天堂大学(本郷キャンパス)・講堂」で開催される。

法人「最先端のむし歯・歯周病予防を要求する会」(理事長 西真紀子(歯科医師))が発足した。西理事長は、「個々人の口腔内環境に応じたオーダーメイドのホームケアとプロフェッショナルケアを続けさせれば、生涯にわたって自分の歯をほぼ100%残すことができる。こうした最先端の予防を歯科医院で受けるために必要な情報を、わかりやすく伝え、歯科医療の底上げを図りたい」と語る。

#### 第232回学校保健セミナー 子ども虐待の現状と 学校に求められる役割

1月18日(火) 14:16時  
東京・新宿区「ランドヒル市ヶ谷」

#### 第232回学校保健セミナー 1月18日(火) 14時から16時まで、東京・新宿区の「ランドヒル市ヶ谷」で開かれる。

「子ども虐待の現状と学校に求められる役割」をテーマに、子ども虐待予防ネットワークの山田不二子理事長が講演する。

#### 第235回ヘルスケア研修会 がんを遠ざける 生活習慣

1月26日(水) 14:16時  
東京千代田区「星陵会館」

第235回ヘルスケア研修会が1月26日(水)14時から16時まで、東京千代田区の「星陵会館」で開かれる。「がんを遠ざける生活習慣」をテーマに、国立がん研究センターの津金昌一郎部長が講演する。

司会は、職域保健・産業看護の飯島美世子主宰。参加費2千円。定員先着400人。

## 第55回 予防医学事業推進 全国大会が長崎で開催

第55回予防医学事業推進全国大会(主催 予防医学事業)

中央会(中央会、日本寄生虫学会、長崎県健康事業団)が10月22日、長崎市

の長崎ブリックホールで開催された。

今日大会は、「健康は明るい未来への第一歩―西洋医学発祥の地 長崎から」をテーマに開催され、本会を始め、中央会の全国支部で健康教育や健診・検査活動

に携わる担当者、保健医療行政担当者、学校・地域・職域保健の専門家ら約1100人が参加した。

開会のあいさつで、長崎県健康事業団の時本恭理事長は「すべての国民が健康で明るく元気に生活できる社会の実現のため、広く予防医学思想の普及啓発を行い、われわれ一人ひとりが生涯を通じて適切な健康づくりに取り組むことが大切である。この大会がさらなる健康づくりの機会になることを期待する」と述べた。

大会では、「西洋医学と長崎」と題して長崎大病院の河野茂院長が「女性が予防のす

め」と題して活水女子大学看護学部の内海文字教授が学術講演を行った。

また、中央会賞が本会の高山英二部長と静岡県予防医学協会の外山武志常務理事に、奨励賞が本会の黒澤幸男氏と平良繁氏ら32人に贈られた。

## 「最先端のむし歯・ 歯周病予防を 要求する会」が発足

近年、口腔内の健康が糖尿病や心筋梗塞を始めとする全身疾患の原因や進行リスクとなることが明らかになってきている。また、わが国では、残存歯数の多い高齢者ほど医療費が抑制できているという調

査結果もある。

こうした中、先頃、NPO法人「最先端のむし歯・歯周病予防を要求する会」(理事長 西真紀子(歯科医師))が発足した。西理事長は、「個々人の口腔内環境に応じたオーダーメイドのホームケアとプロフェッショナルケアを続けさせれば、生涯にわたって自分の歯をほぼ100%残すことができる。こうした最先端の予防を歯科医院で受けるために必要な情報を、わかりやすく伝え、歯科医療の底上げを図りたい」と語る。

同会では、インターネット(www.honto-no-yobou.jp)などを通じて、啓発活動を行っている。

## 従来の CAVI・ABIに加え、 末梢動脈疾患(PAD) 診断機能を強化!

血圧脈波検査装置(CAVI/ABI)  
VaSera<sup>TM</sup>VS-1500Aシリーズ  
医療機器承認番号: 22100BZX00762000



### ●TBI 専用ユニット (ポンプ内蔵) で高性能を実現

新たに開発した足趾血圧ユニットTPU-15(ポンプ内蔵)により、脈波計測感度をあげることによってTBI計測精度を大幅に上げました。  
\*足趾血圧ユニット(TPU-15)を付属しないWS-1500AE/ANもあります。

### ●負荷 ABI 機能の追加

フクダ電子は独自のABI負荷装置VSL-100(オプション)を開発しました。更に負荷ABIの解析ソフトウェアを充実。



本社 / 〒113-8483 東京都文京区本郷3-39-4 TEL (03) 3815-2121 (代) http://www.fukuda.co.jp  
お客様窓口... ☎ (03) 5802-6600 / 受付時間: 月~金曜日(祝祭日、休日を除く) 9:00~18:00  
●医療電子機器の総合メーカー **フクダ電子株式会社**